

公益社団法人ガールスカウト日本連盟

2016 年度

事業報告書



わたしが変わる。
未来が変わる。

girl scouts

2016 年度 事業報告書

目次

● 2016 年度 総括	1
● 事業実施報告	
日本のガールスカウト運動 100 周年記念事業関連	4
教育プログラム	4
成人のトレーニング	6
組織と運営	9
会員	11
社会との関係	12
財政	15
● 2016 年度民間助成金	16
● 2016 年度世界連盟への寄付	16

2016年度 総括

2016年度は、2020年度のビジョン「すべての少女と若い女性が声をあげ、よりよい社会にするために行動を起こす」を達成するために、2014年5月に発表した活動基本方針に則り作成された、「2015－2017年 目標と戦略」の第2年目の取り組みの年であった。また、日本のガールスカウト運動100周年プランを発表し、その取り組みに着手した。

「目標と戦略」では、ガールスカウトが持てる力を最大限に生かし活動することで、会員数の継続的な減少傾向をプラスに反転させ、会員増に転換させることを目指している。重点戦略を「対外発信力の強化」「内部活動・組織の強化」「財政基盤の強化」の3本とし、「広報」「教育プログラム・指導者育成」「組織運営・会員」「財務・財政」の4分野での主要取り組み課題を設定した。そのうえで、各課題を解決するために、「団」「都道府県連盟」「日本連盟」が取り組むことを明確にした。また、すべての取り組みは、「活動基本方針の実践と発信」を意識したものとなるよう呼びかけた。この戦略に則り、日本のガールスカウト運動100周年プランでは、「100万人とつながるキャンペーン」による「対外発信力の強化」と、「コミュニティアクション チャレンジ100」による「内部活動・組織の強化」への取り組みが始まった。

2013年度より取り組みを始めた、ガールスカウト会員外にガールスカウトを伝えた人数は、592,862人にのぼり、前年度340,470人を大きく上回った。2016年度は、より深くガールスカウトを伝えることと、ガールスカウト体験の機会を充実させることを目指し、「おやかでチャレンジ」「春の体験集会」を、ウェブ活用の広報を併用し60,000人を超える人にガールスカウト教育を伝えることができた。

会員数は、2015年度末の会員数を維持することを目指したが、901人の会員減となった（2015年度31,182人、2016年度30,281人）。しかしながら、上記のように体験活動の機会の増加や説明内容の充実などの取り組みの成果が徐々に現れ、減少率は2.9%で、0.7%改善した。都道府県連盟単位で見ると、12府県連盟で会員数が増加した。少女会員、成人会員どちらか一方の会員数が100%を上回った県連盟は16府県連盟であった。全国的に見ると、約半数の県連盟で、少女会員または成人会員数が前年度を上回る結果となった。中でも、新規少女会員数が年々増加している県連盟が複数あり、今後そのノウハウの共有を進める必要がある。団単位では、1,038カ団中339カ団で前年度末会員数+1人以上を実現し、全会員を挙げ活動の発信と内容の充実への取り組みが進んでいる様子が見えてくる。

対外発信力の強化

対外発信力の強化では、団・都道府県連盟を対象に、広報研修会を実施し、活動基本方針やガールスカウト活動の今日的価値の理解を深め、社会とのコミュニケーションをとる具体的な方法を学ぶ機会を提供した。全国的な取り組みとしては、ガールスカウトの日、国際ガールズ・デー、ワールドシンキングデイなどで広報キャンペーンをおこなった。また、インターネットの教育関連ウェブサイトに広告記事を掲載し、一般社会へのガールスカウトの知名度を高めた。これらのことにより、SNSを活用した発信が全国的に進み、ウェブ上での存在感が増している。

教育プログラムの刷新では、活動基本方針にある、「社会を変えるチェンジエージェントとして行動する」人材育成のための教育プログラムの強化を進めている。2015年度には、年長部門の事業として「レンジートレイニング」を実施し、2016年度は各都道府県連盟で年長部門の活動強化への取り組みが進んだ。さらに、取り組みを促進するために、「コミュニティアクション チャレンジ 100」へのエントリーを開始した。このことにより、社会に対して働きかけるプロジェクトへの取り組みが促進されることを目指している。また、東日本大震災以降取り組んだガールスカウト東日本大震災支援プロジェクトの成果をまとめ、「防災マイスターバッジ」を制定し、モットーである「そなえよ つねに」の実践のひとつのかたちとした。この取り組みのヒントとして『めがせ防災マイスター アクティビティ集』を発行し、広く活動に取り入れることを目指した。これらの取り組みは、会員内の活動にとどまらず、KIZUNA Dayなどの取り組みとして地域に提供するプログラムとなっている。

パートナーシップの拡大では、ESD 活動支援センター、バイエル薬品株式会社など新たなパートナーとの活動が実現した。これらのパートナーとの活動は、社会に対しガールスカウトで培った力を発揮できる機会であり、それぞれの団体のウェブサイトなどにガールスカウトが掲載されるなど発信の機会ともなっている。

内部活動・組織力の強化

『めがせ防災マイスター アクティビティ集』の発行は、2014年度から取り組んでいる、「大好きなわたし～Free Being Me～」とあわせ、年少部門から活用できるプログラムの発信となった。

活動を支える指導体制の強化のために、従来のトレーナーセミナーに加え、トレーナーの学びの場として、トレーナートレーニングの他、ウェブ活用、複数県連盟のトレーナーとチームを組んでの研修機会の充実を図った。また、全国で活用できるトレーニングのための教材の充実を進めている。「Stop the Violence（以下 STV）キャンペーン」の教育プログラムである「Voices Against Violence～みんなでつくる 差別と暴力のない世界（以下 VAV）」プログラムのための指導者養成の実施は、VAVプログラムの普及だけでなく、ジェンダーに対する意識を持った指導者の育成につながった。一方で、このプログラムを普及するに当たっての課題が見えてきた。

これらの活動を支える組織運営面での取り組みとして、2013年度に開始した都道府県連盟訪問事業は、2016年度で全都道府県連盟への訪問が完了した。連盟長会議では、2020年の日本のガールスカウト運動 100周年を視野に入れた討議がおこなわれ、全会員が一丸となって取り組みを進めることを確認した。ネパールでおこなわれた第12回アジア太平洋地域会議へ代表者を派遣し、世界連盟の方向性を確認し、2018年からの3カ年計画の検討に取り組み始めている。

継続的な団への支援として、特にウェブ活用による広報活動を促進している。一方で団の広報活動で活用できる、チラシ、バナーなどの充実を図っている。

財政基盤の強化

財政面では、2016年度は、戸隠ガールスカウトセンターの財政基盤を支えるために「戸隠を想う日」を制定し、過年度以上の寄付を得ることができた。しかしながら、賛助会員会費については目標に対して85%にとどまった。

グッズ事業においては、インターネットショップの利用促進を図り、会員への登録数は2,031人（2017年3月31日時点・前年486人）となり、一段とインターネットショップ経由の販売が広がった。

日本のガールスカウト運動 100 周年事業

2020年に迎える、日本のガールスカウト運動 100周年に向けては、2020年のビジョンに向けての取り組みとすることを確認し、2016年からの取り組みを開始した。

- *コミュニティアクション チャレンジ 100
- *100万人とつながるキャンペーン
- *ガールスカウト 100年記念誌～社会を変えた 100人のガールスカウト～出版
- *100周年に向けた資金調達活動（ファンドレイジング）
- *100周年記念イベント
 - 2020年 国際ガールズメッセ
 - 2021年 インターナショナルキャンプ

2016年度の取り組みに加え、2017年度はさらにすべての活動を 100周年事業への取り組みとリンクさせることで、活動基本方針の実践と発信を強化する。

日本のガールスカウト運動 100 周年事業関連

事業名	コミュニティアクション チャレンジ 100
実績	エントリー件数 26 件 活動報告件数 2 件

事業名	100 万人とつながるキャンペーン
実績	コンタクト数 都道府県連盟 592,862 人 日本連盟 2,016 人

事業名	ガールスカウト 100 年記念誌出版（製作準備）
-----	--------------------------

事業名	100 周年に向けた資金調達活動（ファンドレイジング）
実績	みらい募金の募集

事業名	100 周年記念イベント
実績	2020 年を中心に実施する計画の検討 2020 年 国際ガールズメッセ 2021 年 インターナショナルキャンプ 実施予定

教育プログラム

事業名	全国キャンプ（レンジャー部門）
期日	8 月 5 日（金）～8 月 8 日（月）
会場	戸隠ガールスカウトセンター
参加人数	レンジャー121 人、成人会員 18 人（コアメンバー含む）

事業名	年長部門事業「レンジャートレイニング」
実績	年長部門集会：21 件 指導者研修会：35 件 ※13 件は年長部門集会と指導者研修会を両方実施

事業名	ユースチャレンジプログラム
実績	4 都府県 4 グループで実施 * 茨城県、東京都、愛知県、京都府

事業名	国際理解支援事業
実績	<海外研修渡航費補助> 3 県連盟 4 件 (483,800 円) 栃木県連盟、奈良県連盟、和歌山県連盟
	<国際紹介状の発行> 23 件 (20 都道府県連盟、2 有志グループ、日本連盟) 227 人

事業名	ピースプロジェクト Greener×Greener II
期日	年間
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・平和のための寄付金 334,948 円 (2016 年度) ・ピースプロジェクト Greener×Greener II バッジ取得数 1,528 枚 ・日本連盟公式ホームページ内 Greener×Greener II の特設ページで都道府県連盟、団での活動の様子を紹介 ・環境保全のための活動 少女 16,856 人 成人 28,980 人

事業名	ガールスカウト Stop the Violence キャンペーン
デート DV 啓発 キャンペーン	<ul style="list-style-type: none"> ・内閣府男女共同参画局「女性に対する暴力をなくす運動」におけるパープルライトアップへの参加の呼びかけ ・全国デート DV 実態調査協力 ・デート DV スプリングフォーラムへの 10 代 20 代会員派遣および、デート DV 防止のための世界の動き報告
VAV プログラム の普及	<ul style="list-style-type: none"> ・Twitter を活用した「#女子だって#男子だって」キャンペーン実施 ジェンダーの平等について考え「人は性別による固定観念にとらわれず、可能性を伸ばすことができる」というメッセージを伝えた。 ・18～25 歳年代への「#女子だって#男子だって」ワークショップ実施 12 月 4 日 (日) 東京都目黒区にて 会員内外の男女参加者 9 人 ・中学生への VAV プログラムを 10 代 20 代のリーダーが実施 12 月 24 日 (土) ガールスカウト会館にて 参加者 12 人

事業名	ミャンマー・フレンドシップ・プロジェクト (国際キャンプ)
期日	12 月 27 日 (火) ～2017 年 1 月 4 日 (水)
派遣先	ミャンマー ネピドー・ヤンゴン
参加人数	日本連盟：レンジャー23 人、ヤングリーダー 9 人 引率リーダー 4 人、本部スタッフ 5 人 ミャンマー連盟：ガールガイド (12-15 歳) 86 人、 成人指導者 37 人、ヤングリーダー32 人

事業名	ワールドシンキングデイ
期日	2017年2月22日（水）周辺で実施
テーマ	「広げる（Grow）」
実績	WAGGGS 発行活動パックの翻訳版の発行 特設ページにて、世界中のつながりを感じられる活動をハッシュタグで集め、発信（投稿 119 件） ウェブページでワールドセンターバーチャルツアー実施

事業名	戸隠ガールスカウトセンター夏期プログラム
期日	7月16日（土）～8月31日（水）
参加人数	利用グループ：18グループ 宿泊利用人数：1,585人 日帰り人数：472人 ディレクター：12人 スタッフ：43人

事業名	教材等の出版・頒布
-----	-----------

事業名	ガールスカウト活動情報誌『Girl Scouting』（№46～№48）の発行
実績	ガールスカウト活動情報誌『Girl Scouting』№46 10,300部 ガールスカウト活動情報誌『Girl Scouting』№47 9,850部 ガールスカウト活動情報誌『Girl Scouting』№48 10,000部

委員会名	プログラム開発特別委員会
実績	休止

委員会名	教育・指導者委員会
実績	年3回開催

成人のトレーニング

事業名	トレーナーセミナー
第1回	
期日	12月3日（土）～12月4日（日）
会場	国立オリンピック記念青少年総合センター（東京都）
講師	重 政子氏（認定 NPO 法人 持続可能な開発のための教育の 10 年推進会議（ESD-J）代表理事）
参加人数	トレーナー 74 人、実行委員 3 人、委員長、理事 3 人

第2回	
期日	2017年2月4日(土)～2月5日(日)
会場	海の中道青少年海の家(福岡県)
講師	重 政子氏(認定NPO法人 持続可能な開発のための教育の10年推進会議(ESD-J) 代表理事)
参加人数	トレーナー 51人、実行委員3人、委員長、理事3人

事業名	トレーナートレーニング
期日	9月17日(土)～9月19日(月・祝)
会場	戸隠ガールスカウトセンター
講師	坂本 昭裕 氏(筑波大学 体育系 教授)
参加人数	トレーナー 29人、実行委員3人、委員長、理事3人

事業名	Stop the Violence キャンペーン VAV アンバサダー講習会
期日	4月30日(土)～5月1日(日)
会場	国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都)
参加人数	トレーナー 40人、アンバサダー 7人

事業名	Stop the Violence キャンペーン VAV 全国指導者研修会			
参加者総数 219人				
実績	期日	協力	会場	研修参加者数
	6月18日(土)～19日(日)	栃木県連盟	ボーイスカウト日本連盟 那須野営場(栃木県)	18人
	8月27日(土)～28日(日)	北海道連盟	東本願寺青少年研修センター(北海道)	21人
	9月3日(土)～4日(日)	京都府連盟	京都テルサ(京都府)	23人
	9月10日(土)～11日(日)	愛知県連盟	イーブルなごや(愛知県)	19人
	9月24日(土)～25日(日)	新潟県連盟	新潟県立生涯学習推進センター(新潟県)	18人
	10月15日(土)～16日(日)	千葉県連盟	千葉県青少年女性会館(千葉県)	22人
	10月15日(土)～16日(日)	福井県連盟	AOSSA、かんぽの宿福井(福井県)	26人
	10月22日(土)～23日(日)	宮崎県連盟	宮崎県青島青少年自然の家(宮崎県)	12人
12月10日(土)～11日(日)	静岡県連盟	あざれあ(静岡県)	21人	

	12月17日(土) ～18日(日)	香川県連盟	香川県青年センター(香川県)	15人
	1月14日(土) ～15日(日)	大阪府連盟	難波別院南御堂(大阪府)	24人

事業名	ガールスカウトトレイナー認定講習会・審査会
期日	2017年1月8日(日)～1月9日(月・祝)
会場	国立オリンピック記念青少年総合センター／ガールスカウト会館
参加人数	プログラムトレイナー 10人

事業名	プログラムトレイナー認定審査会
第1回(中止)	
第2回	
期日	2017年1月7日(土)
会場	ガールスカウト会館
参加人数	トレイナー候補者 6人

事業名	トレイナー養成・育成勉強会(実施なし)
-----	---------------------

事業名	海外研修本部派遣(成人)	
本部派遣プログラム		
ジュリエット・ロー セミナー2016	期日	5月29日(日)～6月6日(月)
	会場	クサフィリ(ガーナ)
	人数	1人
シンガポール連 盟・アジア太平洋 地域主催 成人研 修	期日	2017年3月12日(日)～3月17日(金)
	会場	Fort Canning Lodge(YWCA)(シンガポール)
	人数	3人
ヘレン・ストロー セミナー2017	期日	2017年3月20日(月・祝)～3月28日(火)
	会場	アワシャレー(スイス)
	人数	1人

事業名	リーダー養成講習・指導者研修
期日	年間
実績	・リーダー養成講習 134回(46都道府県連盟で開催) ・指導者研修 285回(29都道府県連盟で開催)

事業名	指導者の派遣
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・リーダー養成講習へのトレーナー派遣 5 回（石川県連盟、高知県連盟、秋田県連盟、島根県連盟） ・指導者研修へのトレーナー派遣 3 回（石川県連盟、高知県連盟、島根県連盟）

事業名	トレーナーへの支援
実績	ホームページ「トレーナー向け情報」更新

事業名	ミャンマー・フレンドシップ・プロジェクト（トレーナー派遣） （今年度実施なし）
-----	--

事業名	『成人のためのガールスカウトマガジン OLAVE』（№28～№29）の発行
実績	『成人のためのガールスカウトマガジン OLAVE』 №28 5,650 部 『成人のためのガールスカウトマガジン OLAVE』 №29 5,700 部

委員会名	成人トレーニング特別委員会
実績	年 2 回開催

組織と運営

会議名	連盟長会議
期日	11 月 19 日（土）～11 月 20 日（日）
会場	国立オリンピック記念青少年総合センター（東京都）
参加人数	93 人（47 都道府県連盟）、理事 10 人

事業名	都道府県連盟訪問事業		
実績	訪問連盟先	期 日	研修参加者数
	福岡県連盟	4 月 24 日（日）～4 月 25 日（月）	53 人
	東京都連盟	6 月 18 日（土）～6 月 19 日（日）	58 人
	宮崎県連盟	6 月 18 日（土）～6 月 19 日（日）	31 人
	岡山県連盟	6 月 25 日（土）～6 月 26 日（日）	25 人
	長崎県連盟	8 月 27 日（土）～8 月 28 日（日）	25 人
	大分県連盟	10 月 17 日（月）～10 月 18 日（火）	37 人
	静岡県連盟	10 月 28 日（金）～10 月 30 日（日）	57 人
	青森県連盟	10 月 29 日（土）～10 月 30 日（日）	22 人

	福島県連盟	11月11日(金)～11月12日(土)	37人
	和歌山県連盟	12月17日(土)～12月18日(日)	33人
	熊本県連盟	2017年1月21日(土)～1月22日(日)	22人
	山梨県連盟	2017年1月28日(土)～1月29日(日)	53人
	兵庫県連盟	2017年1月28日(土)～1月29日(日)	48人
	大阪府連盟	2017年2月18日(土)～2月19日(日)	60人
	佐賀県連盟	2017年2月18日(土)～2月19日(日)	11人
	高知県連盟	2017年2月25日(土)～2月26日(日)	10人

事業名	組織拡充のための理事等派遣
実績	都道府県連盟への派遣 5回： 栃木県、東京都、群馬県、愛知県、新潟県

会議名	顧問会
期日	7月16日(土)
会場	ガールスカウト会館

会議名	評議員会
期日	12月10日(土)
会場	ガールスカウト会館

会議名	フレンズ オブ ザ ボード
期日	7月16日(土)
会場	ガールスカウト会館
参加人数	20人

会議名	理事会・理事連絡会
期日	理事会 年5回／理事連絡会 年7回開催
会場	ガールスカウト会館

会議名	理事研修
期日	9月10日(土)～9月11日(日)
会場	ガールスカウト会館

会議名	監査
期日	5月8日(日)
会場	ガールスカウト会館

会議名	第 88 回定時総会
期日	5 月 28 日（土）
会場	ガールスカウト会館

会議名	第 12 回 AP 地域会議
期日	8 月 29 日（月）～9 月 2 日（金）
会場	Hotel Yak & Yeti（ネパール）
派遣人数	5 人（会長、国際コミッショナー、オブザーバー3 人）

会議名	ガールスカウト推進議員連盟総会（開催なし）
-----	-----------------------

事業名	地域支援事業
実績	新潟県連盟で実施

委員会名	戦略検討特別委員会
実績	年 12 回実施

委員会名	組織・運営委員会
実績	年 2 回実施

事業名	事務局の強化
実績	業務分野ごとの研修受講

会員

事業名	おやこでチャレンジ（新規会員獲得事業）
実績	339 カ団が前年度末会員数+1 を実現

事業名	2016 年度日本連盟 表彰	
実績	功労章	桐章 19 人 菊章 18 人 梅章 26 人
	永続奉仕章	60 年 9 人 50 年 27 人 40 年 111 人 30 年 216 人 25 年 235 人 20 年 266 人 10 年 393 人
	団永続章	60 年 8 カ団 50 年 14 カ団 40 年 41 カ団 30 年 12 カ団 25 年 9 カ団 20 年 6 カ団 10 年 2 カ団
	連盟永続章	50 年 2 県連盟 25 年 1 県連盟

事業名	施設団への支援
実績	登録費の補助（半額） 5カ団 48人

事業名	会員継続率向上のための取り組み
実績	中学3年生および高校3年生年代へのチラシの作成 など

事業名	会員データベースの運営
実績	月末に前月末締め会員数を都道府県連盟に共有

事業名	会員の活動形態の検討
実績	戦略検討特別委員会にて検討を開始

社会との関係

事業名	社会への発信のための全国縦断の活動
実績	<p><ガールスカウトの日> 期日：5月22日（日）前後の土曜日・日曜日に全国で実施 参加者：一般少女 15,352人、一般成人 18,161人</p> <p><ガールスカウト夏チャレ> 「#ガールスカウト夏チャレ」をつけてチャレンジしているガールスカウトの姿を集約する特設ウェブサイトを開発。 期間：7月7日（木）～9月30日（金） ・SNSによる有効投稿数 420件 ・特設サイトページビュー数 8,097</p> <p><国際ガールズ・デー> 「#女子だって #男子だって Twitter キャンペーン」を実施。 期間：10月11日（火）～12月25日（日） ・フォームおよびSNS直接投稿 220件 ・特設サイトページビュー数 1,787 ・期間中の投稿をまとめた together ページビュー数 4,104 ・朝日新聞 DearGirls に「まとめ」がシェアされ、国際女性の日キャンペーン全国紙記事取材につながった。</p> <p><ワールドシンキングデイ> テーマ「Grow（広げる）」から、世界とつながるガールスカウトの姿を集約する特設ウェブサイトを開発。 期間：2017年1月18日（水）～2017年3月31日（金） ・フォームおよびSNS直接有効投稿 119件 ・世界から届いたワールドシンキングデイカード8件掲載 ・特設サイトページビュー数 4,098</p>

事業名	ガールスカウトのPR
実績	<p><クリスティクル広告></p> <p>新入会のシーズンに向けてインターネット上に広告記事を掲載。 育児・教育の総合メディア「Conobie（コノビー）」に記事2本を作成（2017年1月26日発信、2月9日発信）</p> <p>1本目：掲載期間：2017/1/26～2017/02/02 2本目：掲載期間：2017/2/9～2017/02/16</p> <p>バナー広告：3種類を1週間同サイトの「子育て・育児」「教育・遊び」カテゴリー記事下に表示</p> <p><クリスティング広告></p> <p>Google Adwords で実施</p>

事業名	広報資料の作成
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・チラシ 60,000 部作成、年間配布数 57,609 部 ・小冊子 20,000 部作成、年間配布数 11,370 部 ・アクティビティレポート 2016 5,500 部 ・戸隠を想う日チラシ（払込票付）4,000 部 ・2017年カレンダー1,000 部（広報分）

事業名	ホームページ等の運営
実績	<p>日本連盟公式ホームページ訪問者数：262,220 人（昨年度比 6%増）</p> <p>新規訪問者率 52.63%（昨年度比 12.23%増加）</p>

事業名	社会との連携
実績	<p><他団体事業（国際交流事業）への推薦></p> <ul style="list-style-type: none"> ・内閣府青年国際交流への推薦 希望者なし ・独立行政法人国立青少年教育振興機構主催「ミクロネシア諸島自然体験交流事業」への推薦 派遣決定者7人 <p><他団体との事業連携></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ケア・インターナショナル ジャパン Walk in Her Shoes キャンペーン レンジャー29人がジュニア・アンバサダーとして参加 ・国立青少年教育振興機構「春のキッズフェスタ」（5/21）7人 ・国立青少年教育振興機構「秋のキッズフェスタ」（10/22）6人 ・省庁連携事業「子ども霞ヶ関見学デー」（7/27,28）5人 ・エコライフフェア（ESD 活動支援センター、6/4,5）19人 ・グリーンチャレンジデー（ESD 活動支援センター、10/1,2）9人 ・株式会社ワコール ツボミスクール

	<ul style="list-style-type: none"> ・プラン・インターナショナル・ジャパン「夏休み読書感想文」大学生審査員6人、応募：中学生の部3部、高校生の部2部 ・バイエル薬品株式会社「カラダのミカタ高校生シンポジウム」(8/24) 実行委員14人 ・(一社)日本損害保険協会「小学生のぼうさい探検隊マップコンクール」入選1カ団、佳作3カ団 ・事業協力 国連ウィメン日本協会 NPO 法人エンパワメントかながわ
--	--

事業名	広報研修会				
実績	期日	内容	会場		参加者数
	6月26日(日)	B	東京会場	ガールスカウト会館	40人
			サテライト 福井会場	ちくちくぼんぼん (福井県)	23人
			サテライト 静岡会場	静岡県青少年会館 (静岡県)	16人
	7月10日(日)	A	福岡会場	福岡工業大学 (福岡県)	32人
	8月28日(日)	A	岡山会場	ウィズセンター (岡山県)	28人
	9月3日(土)	A	宮城会場	エル・パーク仙台 (宮城県)	35人
	9月22日(木・祝)	B	京都会場	京都テルサ (京都府)	71人
	10月22日(土)	A	埼玉会場	ソニックシティ (埼玉県)	26人
	内容A：“ウェブde広報”デビューへの 広報研修会 内容B：ウェブ広報力をUPする 広報研修会				

事業名	防災・減災プロジェクト	
支援金	2016年度に寄せられた支援金総額 100,345円	
「いきるちから」 キャンプ	期日	9月17日(土)～9月19日(月・祝)
	会場	国立那須甲子青少年自然の家(福島県)
	人数	参加者：小学生81人(会員36人・一般45人)、 スタッフ56人
KIZUNA Day	期日	2017年3月11日(土)
	会場	全国各地
KIZUNA Line	実績	Facebook ページへの「いいね」 1,364人

防災教育	実績	防災マイスターバッジ制定 『めざせ防災マイスター アクティビティ集』発行
災害等支援金	実績	茨城県連盟（関東・東北豪雨被災会員の登録費補助として） 北海道連盟（台風10号被災会員へのお見舞金として） 岩手県連盟（台風10号被災会員へのお見舞金として） 熊本県連盟（熊本地震被災会員へのお見舞金として）

財政

事業名	ガールスカウト会館の管理運営
-----	----------------

事業名	戸隠ガールスカウトセンターの管理運営
実績	<初夏の戸隠ガールスカウトセンターへのお誘い>（戸隠ガールスカウトセンター説明会） 期日：6月19日（日） 参加人数：173人（来賓50人、長野県連盟123人）

事業名	戸隠ガールスカウトセンター春期・秋期利用
期日	春期：4月29日（金・祝）～7月10日（日） 秋期：9月1日（木）～11月7日（月）
会場	戸隠ガールスカウトセンター
利用人数	春期：宿泊利用194人 日帰り利用223人 秋期：宿泊利用95人 日帰り利用89人

事業名	グッズ販売事業
-----	---------

事業名	賛助会員トレフォイルの集い
期日	10月2日（日）
会場	ガールスカウト会館
参加人数	第1部参加者：30人 第2部（講演 会長 浅野万里子）参加者：31人

委員会名	ファンドレイジング委員会
実績	年3回開催

2016 年度民間助成金

助成団体	事業名
一般社団法人霞会館	<ul style="list-style-type: none"> ・ AP 地域会議代表団派遣 ・ 引率リーダー渡航費補助 ・ 海外研修本部派遣（成人）補助
独立行政法人国立青少年教育振興機構（子どもゆめ基金）	<ul style="list-style-type: none"> ・ VAV 全国指導者研修会
一般社団法人東京倶楽部	<ul style="list-style-type: none"> ・ ミャンマー・フレンドシップ・プロジェクト
ガールガイド・ガールスカウト世界連盟	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大好きなわたし～Free Being Me～ ・ ユースチャレンジプログラム（3Lプロジェクト） ・ AP 地域会議 参加費助成

2016 年度世界連盟への寄付

寄付金名	金額	備考
国際友愛基金	2,246,315 円	
サンガム指定寄付金	321,551 円	